

は じ め に

青少年が健やかに育ち、力強く未来の社会を担っていくことは、私たちすべての大人の願いです。しかしながら、青少年の問題行動は少子高齢化や価値観の多様化、家庭の教育力の低下、地域の人間関係の希薄化など、社会環境の変化を背景に、依然として深刻な状況が続いています。

とくに近年、インターネットや携帯電話などの急速な普及により、様々な情報が手軽に入手できるなど非常に便利になった反面、青少年の多くが有害情報にさらされたり、事件や犯罪に巻き込まれるなど憂慮すべき事態も起こっています。その中でも出会い系サイトを利用して青少年がトラブルに巻き込まれるケースが多発しており、2006年中に起こった出会い系サイトに関連した事件の96.6%が携帯電話からのアクセスであり、被害者の83.1%が18歳未満の青少年だったという報告もあります。したがって幅広い年齢層に浸透している携帯電話については、ユニバーサルなコミュニケーションツールとして、利便性や可能性を追求していく一方で、影の部分、すなわち青少年に対する悪影響にも十分配慮し、その対策を講じていくことが求められています。

そこで当少年センターでは、本年度の環境浄化活動の重点の一つとして、関係機関のご協力をいただき、インターネット有害サイト等に関する情報収集や、携帯電話に関するアンケート調査を実施し、青少年がネット関連の被害に遭わないよう、その対策や啓発活動を積極的に推進することとしました。

小冊はとくに携帯電話に関して、管内の一部の小中高の児童・生徒、及びその保護者（除 高校生）を対象にアンケート調査を行い、その実態や意識について考察したものです。

ご高覧いただき、ご批正を賜るとともに、関係各位の活動の参考資料としてご活用いただければ幸甚に存じます。

平成19年8月

守山野洲少年センター 「あすくる」 守山野洲

所長 大 西 英 則